



6/19 お100姓さん 田植え

大歳交流センターだより



No.64 平成26年 7月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人 数 13,279 世帯数 6,088 平成 26 年 6 月 1 日現在

第28回おとし夏まつり



日 時：8月2日（土）18：00～21：00

場 所：大歳小学校グラウンド



※ 雨天の場合は大歳地域交流センター前庭で縮小開催します。（舞台は中止）

※ 駐車場はありません。自転車や徒歩でまつり会場へお越しください。

自転車でお越しの方は所定の場所へ駐輪してください。

☆ 詳しくは、7月15日号に配布する「おとし夏まつりプログラム」をご覧ください。

第37回 大歳地区卓球大会開催

日 時 7月6日（日） 開会式 8：30～

場 所 大歳小学校体育館

主 催 大歳体育振興会

主 管 大歳卓友会



前 回 大 会 の 様 子

大歳地区卓球大会を大歳小学校で開催します。個人の部は当日の飛び入り参加もできます。是非奮ってご参加ください。参加賞もあります。

※個人の部は、分館対抗の部の閉会式終了後に開始します。

お問い合わせ 大歳体育振興会事務局 （大歳地域交流センター内 TEL 922 - 4035）

第57回大歳地区分館対抗ソフトボール大会結果報告

6月8日（日）榎野川運動公園にて開催されたソフトボール大会の結果を報告します。

Aブロック 優 勝 今井下 準優勝 下湯田

3 位 勝 井 中矢原A

Bブロック 優 勝 上矢原B 準優勝 高 井

3 位 上湯田上、穂積県営住宅

選手のみなさん、お疲れ様でした！！



Aブロック優勝の今井下分館

がん検診のお知らせ

◆肺がん検診(結核検診)

H26年7月17日(木)

H26年7月18日(金)

料金: 無料 ※喀痰検査は600円

場所・時間: 大歳地区内各所

(詳しくは市報6月15日号をご覧ください)

※大腸がん検診の検体容器配布も同時に行います。

◆大腸がん検診(検体提出日)

※要予約

H26年7月18日(金) 14:10~15:10

H26年7月28日(月) 9:00~10:00

料金: 300円

場所: 大歳地域交流センター

- ※ 大腸がん検診は要予約(大腸がん検診の検体容器配布方法は予約時に説明します)。
- ※ 受診の際は「がん検診等受診ハガキ」と受診料を持参してください。
- ※ 他会場での集団検診や個別検診(医療機関で受診)についても下記にお問い合わせください。
- ※ 子宮がん検診は10月に実施予定。9月頃お知らせします。

~ご予約・お問い合わせ~

山口市保健センター TEL 083-921-2666



大歳地区健康相談のお知らせ

「体重や体脂肪を減らしたい」「運動の方法を教えてください」「食生活を見直したい」など、健康づくりに関するお悩みや疑問・相談などある方は、お気軽に健康相談をご利用ください。まずは一度お越しになりませんか?

日時: 7月11日(金) 10:00~11:30

場所: 大歳地域交流センター 1階 講座室

内容: 保健師による健康相談・血圧測定
・体脂肪測定・尿検査

料金: 無料

お問い合わせ: 山口市保健センター

(TEL 921-2666)



はつらっクラブ 大人の居場所

日時: 7月19日(土)

13:30~15:30

内容: ☆歌声喫茶

懐かしい歌をみんなで楽しく唄いましょう!

“叱られて” “歌の町” “秋桜” など

どなたでも参加できます。お待ちしております

講師: 吉末 智津子 先生

場所: 大歳地域交流センター 2階 講堂

参加費: 200円(楽譜、喫茶代)

お問い合わせ: 吉野 (TEL 922-5286)



おおとし花いっぱい運動 ~おおとしを花でいっぱいになろう!~

☆花だんコンクール実施

子ども会、福寿会、自治会等でお世話をされた花だんのコンクールを実施します。応募

される団体は申し込みをして下さい。コンクール実施日等、詳細を後日お知らせします。

申し込み期日: 7月11日(金)

☆花づくり講習会開催

日時: 7月10日(木) 16:00~17:00

場所: 大歳地域交流センター

参加費: 無料

募集人数: 先着 100人(1人1プランター)

申し込み期日: 7月7日(月)

申し込み・お問い合わせ先: 大歳自治振興会 TEL 920-1700



山口大学キャンパスてくてくツアー開催中！

山口大学キャンパスてくてくツアーは、毎月第一第三金曜日に、学生がキャンパス内を案内し地域のみなさまに山口大学を見学していただく企画を行っています。ぜひ、お気軽におこしください。

7 月のツアールートのお知らせ＜今月の見どころ＞

7 月 4 日（金）長州五傑記念碑、ちゃぶ台ルーム、学生食堂ボーノ&きらら

7 月 18 日（金）大賀ハス池、共育の丘、学生食堂きらら

＜お問い合わせ先＞

山口大学地域連携推進センター TEL：933-5962 mail：tekuteku@yamaguchi-u.ac.jp

14 時 50 分
正門前集合

てくてくツアー夏の特別企画「はじめてのやまだい」

山口大学キャンパスてくてくツアーを土曜日に開催する特別企画。参加には事前申込みが必要です。

開催日時：7 月 19 日（土）9 時～11 時 30 分 雨天時は翌日に順延

（山大正面左の大賀ハス池に 8 時 50 分集合。駐車場あり。）

先着 80 名限定！

申込方法：メールまたは FAX で必ず申し込んでください。申込みの際は、氏名、住所、電話番号、年齢、性別を必ずご記入ください。小中学生は保護者の同伴が必要です。

申込期間：6 月 30 日（月）～7 月 11 日（金）17 時まで（期間以外では受け付けません。）

＜申込先＞山口大学地域連携推進センター FAX：933-5029 mail：tekuteku@yamaguchi-u.ac.jp

フラダンス教室 お仲間さん募集!!

やわらかなハワイアンメロディに癒されながら笑顔いっぱい!! の教室です。

初心者さん、特に年配の方大歓迎です！

日時：毎月第 1・3 金曜日
13:30～14:30
毎月第 2 金曜日
15:30～16:30



会費：毎月 2,000 円

お問い合わせ：古賀（TEL 924-5593）

中村（TEL 925-3076）

「子どもでマナビ」受講生募集 イクメン食育講座 パパと作ろう!男の朝ごはん

日時：平成 26 年 7 月 26 日（土）
10 時 00 分～13 時 00 分

会場：小郡地域交流センター

山口市小郡下郷 609 番地 1 (TEL 973-0638)

講師：やまぐち食育くらぶ

代表 西本 葉子 氏

対象：年中園児から小学 3 年生までの

子どもとその保護者（先着 15 組）

受講料：父子 1 組 400 円、1 名追加ごとに 100 円加算

持参物：エプロン、マスク、三角巾、飲み物、上履き

託児：無 料（要申し込み）

お問い合わせ：市教育委員会社会教育課 (TEL 934-2865)

メニュー

- パパとママ丼
- ど根性お粥
- 基本のみそ汁

※ 父と子の 2 名 1 組プラス家族でお申込みください。

※ アレルギー対応可（要事前相談）

※ 車の乗り合わせや公共交通機関での来場にご協力ください。

【大歳地区 7 月の行事予定】

3 日（木）燃やせないごみの日
4 日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
6 日（日）地区分館対抗卓球大会
8 日（火）おとし夏まつり実行委員会（19:00～）
9 日（水）子育て応援講座（10:00～12:00）
10 日（木）花づくり講習会（16:00～17:00）
11 日（金）健康相談・介護予防相談（10:00～11:30）
14 日（月）金属・小型家電製品の日
16 日（水）びん・缶の日

18 日（金）パソコン相談（10:00～12:00）
受付 10:00～10:30 まで
18 日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
19 日（土）大人の居場所（13:30～15:30）
19～20 日 キッズフェスティバル
23 日（水）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）
24 日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
25 日（金）子育て支援 “太陽クラブ”（10:00～13:00）

※木曜日はプラ容器包装分別収集



潮境（しおざかい）

滑木（ほだぎ）山と山椒（さんしょう）峠を水源とする朝田川が榎野川に合流する辺りは「潮境」と呼ばれています。地名から考えると、昔はこの辺りまで海の水が遡上していたものと思われます。そこで、この地名と海に関連した資料をいくつか紹介します。

(1) 潮境より少し上流に黒川の「田屋の島」という地区（現在のフジグランがある辺り）がありますが、この辺りで魚のタイが獲れたから昔の人は「たいの島」と言っていたのが訛ってこのように呼ばれるようになったと言われています。（他に、中州に田圃があり人が生活する家屋があったので「田屋の島」と呼ばれるようになったという説もあります）

(2) 岩富の田中家（古曾坊）に伝わる『年中吉凶記録』によりますと、宝永3年(1706)の黒川八幡宮念仏踊仕法改めの中に、「念仏踊の根元を委く尋るに大昔赤きかにが来てはい廻るを牛馬見て患いしたため・・・」と、牛馬災難消除のために、この念仏踊の始まったと由来が記されています。大昔の事でしょうが、黒川村（現在の岩富や対岸の田屋島辺り）

に、赤きカニ（海岸近くに生息するベンケイガニ）が生息していて、這い回り、これを牛馬が見て驚き死んでいくので、そうならないように、念仏踊りを行って赤崎社に奉納するための仕様がこの『年中吉凶記録』に書かれています。このことは、田屋の島辺りまで潮水の影響があったと思われます。

(3) 潮境のすぐ下流、大歳の朝田と接する小郡側を「仁保津」と呼んでいます。藩政時代、享保11年(1726)の『地下上申』（庄屋が村の様子を藩に上申したもの）の「小郡」の項に、「往古此所海えつづき候大川にて、船付に御座候故、山口仁保村より御米等津出候故、仁保津と申習し候由申伝候事」とあり、大昔は、仁保津は海続き港(津)だったようです。

歴史を辿りますと、奈良時代、これまで律令制の根幹である班田制の班田収受がスムーズに行われなくなり、墾田永年私財法(743)が施行され、各地に開墾が進められ、仁保は皇室領の荘園になったといわれています（その後、これが1077年に京都の法勝寺に寄進され同寺の荘園となり、

1179年に平子重経（ひらごしげつね）が地頭職として赴任し、管理しています。この律令国家の中央政府の財源は地方からの絹・布や米などの貢納によりましたが、これら物資の輸送は天平勝宝8年(756)に運脚（農民による陸路輸送）から海路漕送（船による輸送）に改められましたので、この頃に仁保津の港が利用され始めたと推測されます。次回に続きます。

（大歳史談会）



ベンケイガニ



潮境と呼ばれる朝田川が榎野川へ合流する場所。ここより下流を望む風景。